

資料3

藤島発生土置き場における 地盤改良の影響について

静岡市

2026年8月31日

藤島発生土置き場における既設盛土の地盤改良(第25回協議会 2026.2.27)

○藤島発生土置き場には既設盛土があり、その上に要対策土を盛土する計画である。盛土全体の安定性の確保のため、既設盛土に地盤改良を行う計画とされている。

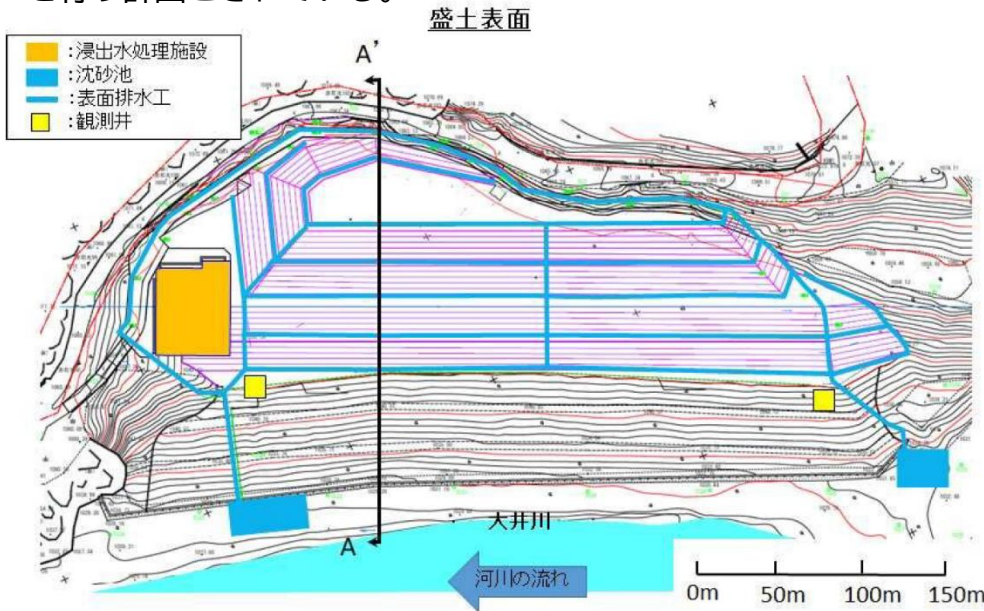


図 40 計画平面図

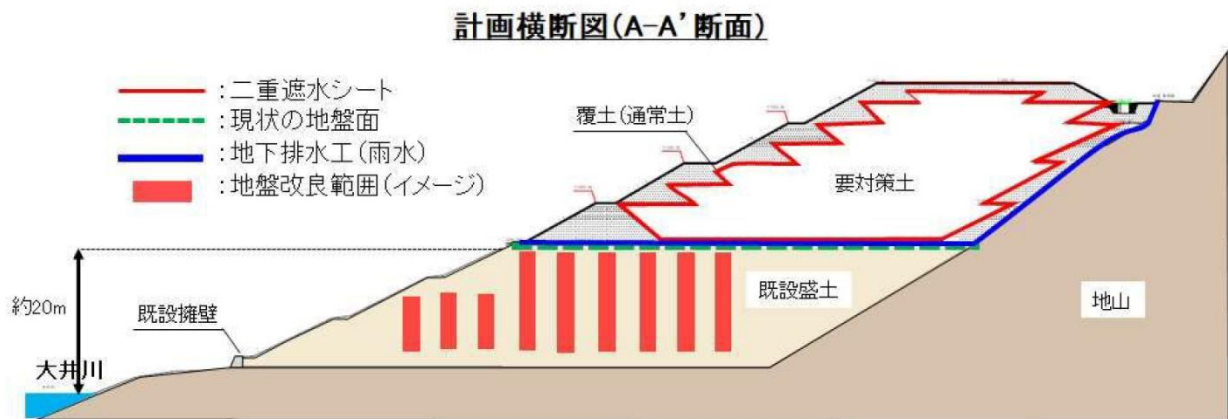


図42 計画横断面図 (A-A'断面のうち盛土部～大井川)

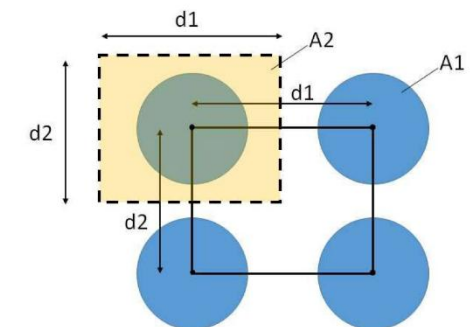
■JR東海説明資料

(4) 盛土構造の設計の基準

3) 盛土の形状及び地震時の安定性 (抜粋)

・現地盤について、複数のボーリングによる地質調査により、藤島発生土置き場候補地における既設盛土等の性状を確認しました。その結果、一部で柔らかい層が見つかったため、盛土施工箇所の一部は、安定性確保のため図42のとおり既設盛土に対し地盤改良を実施し、要対策土を安全かつ安定的に盛土できる設計としました。なお、地下水の流れを阻害しないよう柱状改良による地盤改良を実施し、必要な地耐力を確保する考えです。

出典：第25回静岡市中央新幹線建設事業影響評価協議会（2026.2.27）
資料6 P46（下線は静岡市が追記）



A1 :改良体1本あたりの断面積
d1,d2:改良体の配置間隔
A2 :改良体1本あたりの分担面積 (d1 × d2)
→改良率 = $A1/A2 \times 100(\%)$

図46 改良率の考え方

○委員意見

- ・今回、盛土を行う下の部分に既設盛土がある。安定性確保のために、既設盛土に柱状改良でセメントの柱を設ける計画は良いと思う。
- ・背後に高い山があるので、そこから浸透してきた水が、既設盛土の内部を通り流れる。柱状改良することにより、水の流れを阻害することになると思うが、その影響がどうなのか気になる。
- ・柱状改良することによりどれだけ水の流れを阻害するかということ、例えば3次元解析などで、いずれやっていただければよいと思う。
- ・盛土材の強度を表す定数である物性値（ c 、 ϕ ）は仮定であるため、実際にズリが出てきた際にきちんと試験し、実際の盛土の物性値で安定性を検討してほしい。

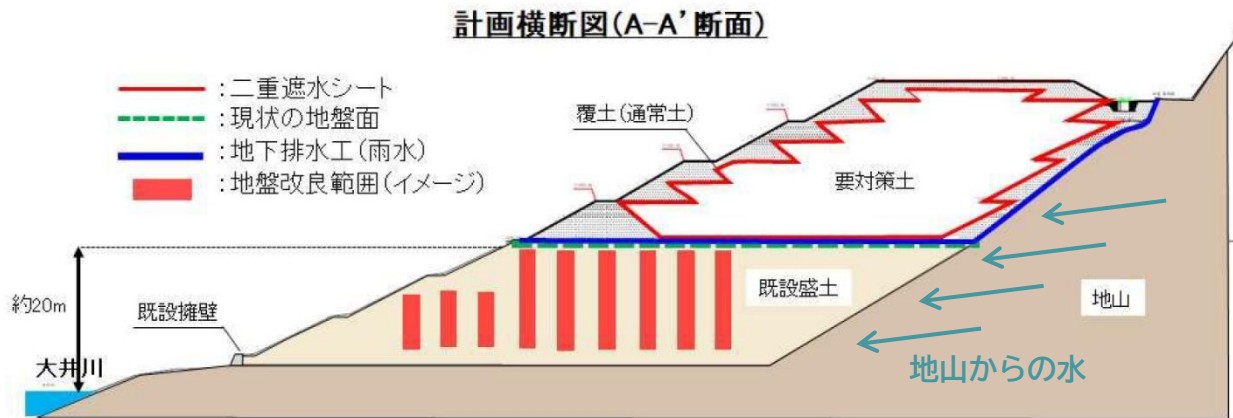


図42 計画横断面図 (A-A'断面のうち盛土部～大井川)

出典：第25回静岡市中央新幹線建設事業影響評価協議会（2026.2.27）資料6 P47（青字は静岡市が追記）